

| | | | |
|---|--|------------|---------------------------|
| 科目名 | 建築計画Ⅱ | 英語科目名 | Architectural Planning II |
| 開講年度・学期 | 平成21年度・前期 | 対象学科・専攻・学年 | 建築学科4年 |
| 授業形態 | 講義 | 必修 or 選択 | 必修 |
| 単位数 | 2単位 | 単位種類 | 学修単位(15+30)h |
| 担当教員 | 瀧澤雄三 | 居室(もしくは所属) | 建築学科棟3階 |
| 電話 | 0285-20-2830 | E-mail | takizawa@oyama-ct.ac.jp |
| 授業の達成目標 | | | |
| 1. 建築種別に計画上の一般的ルールや留意点等の基本的事項を説明できる。 | | | |
| 2. 建築種別に必要な空間機能を説明できる。 | | | |
| 3. 建築計画や各種建築物の計画関連用語等を理解し、説明できる。 | | | |
| 各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法 | | | |
| 1～3. 中間試験、期末試験において60%以上の成績で評価する。 | | | |
| 1～3. 課題に対する提出レポートの内容を設定水準で評価する。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 評価は以下の2項目の加重平均によって行う。 | | | |
| 1. 中間試験、期末試験(80%) | | | |
| 2. 課題の回答内容(20%) | | | |
| 授業内容 | 授業内容に対する自学自習項目 | | 自学自習時間 |
| 1. 博物館 | 1. 博物館 | | 4 |
| (1) 博物館の目的・種類・組織(1週) | (1) 博物館の目的と種類を調べる | | |
| (2) 博物館の空間機能・動線計画(1週) | (2) 博物館の諸室と巡回形式に関する課題 | | 4 |
| (3) 展示室、その他諸室の空間計画(1週) | (3) 展示システム等に関する課題 | | 4 |
| 2. 学校教育施設 | 2. 学校教育施設 | | 4 |
| (1) 教育施設の種類・教育制度(1週) | (1) 教育施設の種類と教育制度に関する課題 | | |
| (2) 幼稚園と保育所(1週) | (2) 幼稚園と保育所の違いに関する課題 | | 4 |
| (3) 学校のプランと運営方式(1週) | (3) 学校のプランと運営方式に関する課題 | | 4 |
| (4) 近年の動向(1週) | (4) 教育の新しい動きに関する課題 | | 4 |
| | *「図書館巡り」の課題 | | |
| テスト(1週) | 博物館、図書館の復習 | | 4 |
| 3. 図書館 | 3. 図書館 | | 4 |
| (1) 図書館の変遷及び図書館の種類(1週) | (1) 図書館の種類等に関する課題 | | |
| (2) 図書館関連用語及び図書館の奉仕活動(1週) | (2) 図書館関連用語に関する課題 | | 4 |
| (3) 図書館の出納システム(1週) | (3) 図書館の出納システムに関する課題 | | 4 |
| 4. 医療施設 | 4. 医療施設 | | 4 |
| (1) 我が国の医療制度及び病院の空間構成(1週) | (1) 病院の構成と病院関連用語に関する課題 | | |
| (2) 看護単位とその諸室の計画(1週) | (2) 看護単位に関する課題 | | 4 |
| (3) 病棟部の計画(1週) | (3) 病室に関する課題 | | 4 |
| (4) 外来診療部、中央診療部の計画(1週) | (4) 診察室・検査・手術部に関する課題 | | 4 |
| 【期末試験】 | | | |
| 自学自習時間合計 | | | 60 |
| キーワード | 建築物、空間機能、空間計画、設計条件、用語 | | |
| 教科書 | 特になし。必要に応じ随時プリント等を配布。 | | |
| 参考書 | 各種建築雑誌(新建築、建築文化等々)、建築設計資料集成(日本建築学会)等々。 | | |
| 小山高専の教育方針①～⑥との対応 | ③自然科学・英語・専門基礎科目の学力向上 | | |
| 技術者教育プログラムの学習・教育目標 | | | |
| (A-1) 科学や工学の基本的知識を身につける | | | |
| JABEE 基準1の(1)との関係 | d(2-a) | | |
| カリキュラム中の位置づけ | | | |
| 前年度までの関連科目 | 建築計画Ⅰ、インテリアデザイン、 | | |
| 現学年の関連科目 | 建築設計Ⅱ | | |
| 次年度以降の関連科目 | 空間計画原論、建築計画Ⅲ、都市・地区計画、現代建築論 | | |
| 連絡事項 | | | |
| 1. 毎回出す課題は必ず調べ、レポートとして提出すること。 | | | |
| 2. 予習: この毎回出される課題をやらないと講義について行けないので、必ず課題をやった講義に臨むこと。 | | | |
| 3. 予習: 講義対象施設をあらかじめ見学しておくこと。時間的に対応できない場合は、最低限、建築雑誌等で類似施設をみておくこと。 | | | |
| 4. 授業: 授業は建物種別に、計画にあたっての考え方、留意点、あるいは今後の課題等について解説していく。また、随時関連施設の実例をスライド等で紹介する。 | | | |
| 5. 復習: 必ず当日の講義を見直し、分からないところや更に詳しく知りたい点等を整理し、自分で文献等を調べるなり教員に質問するなりすること。 | | | |
| 6. 百聞は一見にしかずということもあり、機会を見つけてなるべく多くの、いろいろな機能の地域施設の見学を心がけることを切望する | | | |
| シラバス作成年月日 | 平成21年2月23日 | | |